

一般質問通告書 9月議会

令和2年9月15日

番号	件名	氏名
1	移住・定住促進にわかりやすい窓口を	山戸 孝
2	子供たちにネット上の悪意から身を守るための教育を	山戸 孝
3	イノシシの対策について	山根 善夫
4	新型コロナ対策について	清水 敏保

4件 3人

定例会一般質問通告書

令和2年第3回上関町議会定例会（9月）

◆質問者1 山戸 孝	
質問事項	質問要旨
1. 移住・定住促進にわかりやすい窓口を	<p>高齢化と人口減少の進む本町の将来を考えた時に、移住・定住の促進によって子育て世代、働き納税する現役世代を増やす事は急務である。しかし、地方に移住を考えている都市在住の方等と意見交換の際、上関町に移住するための窓口がわかりにくい、移住するまでの具体的な流れがイメージしづらいという意見をいただいた。折しも来年の新庁舎への移行にあわせ機構改革があると聞いているので、相談先が一目でわかる窓口を設置してはどうか。</p> <p>また、町のホームページについても、最初の相談から実際の移住・定住に至るまでの流れをフローチャートのような形で掲載するなど、よりわかりやすい形に充実させていってはどうか。</p>
2. 子供たちにネット上の悪意から身を守るための教育を	<p>新型コロナウイルスの影響により、小中学校でのタブレット一人一台貸与や GIGA スクール構想の実施が前倒しされ、学校教育と ICT は切り離せないものとなってきている。同時に SNS 上での違法行為への勧誘等、ネット上における諸問題と子供たちの距離も否応なく近づいている。学校の教育の中に ICT が入ってくる以上、学校においても ICT の安全な使い方、ネット上の悪意から身を守る術を子供たちに教えていくべきではないか。</p> <p>①現状、ICT の安全な使い方や、危険性への注意喚起についてどのような対応をしているか。</p> <p>②今後、ICT の安全な使い方や、ネット上で身を守るための技能を身につけることに特化した授業等を実施することは考えていないか。</p> <p>③子供たちに一人一台貸与されるタブレットについて、家への持ち帰り時も含めセキュリティ対策や学習以外への使用で問題が起きないように設定や指導は万全か。</p>

◆質問者2 山根善夫	
質問事項	質問要旨
イノシシの対策について	<p>祝島では約10年前にイノシシが上陸し、5年前から年間数十頭捕獲しているが、捕獲数よりも増える数の方が多い状況である。農地においては個別に対応しているが、イノシシの問題は農作物被害だけにとどまらず、山の斜面を掘り返す事により土砂災害の一因になっていると考えられる。</p> <p>加えて本年夏頃から、集落にイノシシの幼獣が度々現れる状態で、農作物を食い荒らす被害もでていいる。幼獣が成長場合は、集落に与える脅威は計り知れないため、安心して生活ができるよう集落ごとの防護対策の検討が必要と思われるが、町としての考えを問う。</p>
◆質問者3 清水敏保	
質問事項	質問要旨
新型コロナ対策について	<p>新型コロナウイルスの第2波が7月に入って押し寄せ、山口県西部を中心に感染が拡大している。一方、国による特別定額給付金事業、本町独自では上関町新型コロナウイルス感染症対応支援事業を実施しているが、感染状況が長期化した場合、町の負担も増えてくると思われる。それを踏まえて</p> <p>①今後、町としての新型コロナウイルス感染症対応支援事業について、どのように考えているのか問う。</p> <p>②現在、山口県では県西部を中心に感染が拡大しているが、今後の感染防止対策について問う。</p> <p>③上関小・中学校も、例年より夏休みが短くコロナ禍の中、二学期が始まっている。子供たちに疲れやストレスが溜まっている可能性もあると思われる。その対策について問う。</p> <p>④離島である祝島、八島で仮に新型コロナウイルス感染症の可能性のある患者が発生した場合、誰が、どのようにして島外へ搬送すればよいのか多くの方が懸念している。具体的なマニュアルはどのようになっているのか、町としての対策について問う。</p>